

み

か

い

安住院便り (第31号)

平成25年8月1日発行
〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

灯明（明かり）

昨年末、岡山市内の有名な古刹、金山寺の本堂が不幸にも全焼してしまいました。詳しい事は不明ですが、灯明（口ウソク）の火が原因とも言われています。寺院の諸堂の中で、今でも明かりとして、口ウソクが使用されています。また、護摩祈祷等も行われています。また、護摩祈祷が行われる所が多くあります。その上、木造作りの建物が多く、文化財のため、改修が造し難いものもあり、火災には日頃より、十分注意しています。



しかし、時代の流れ、光も、口ウソクから電球に、そして今ではLEDが、主流になっています。省エネルギーだけでなく、安全性の観点からも、LED照明は普及してきています。

そこで、当安住院の本堂内の明かりも、更してきました。先程申し上げたように、ただ見やすくするためではなく、仏様への御供え、仏様のお智恵でありますので、その点を十分考えた上で、安全対策として導入していくつもりであります。

日本の仏教寺院のお堂は、昼でも薄暗い中で、仏様が静かに佇むという印象です。キリスト教などの教会のステンドグラスに照らされた極彩色の空間とは違います。仏教では、みんな一緒に集まつても、個人個人を大切にして、静かに仏様との御縁を結ぶ意識が強いからだと考えます。仏様は全ての人に対しても、その方だけのために説法されていて、みんなに安らぎを与えることは、どの宗教でも同じですが、仏教では仏様との距離感が大切なのです。

本堂の中の、明かりに照らされた仏様と、是非素晴らしい御縁を結んで頂きたいものです。

合掌

ご挨拶

副住職 生駒 善勝

岡山に来て三ヶ月、前号での紹介より半年が経ちました。お彼岸、法事などでお会いした方もおられます。その際、温かい励ましのお言葉を頂き、大変有難く、勇気づけられました。

これから先も、多々ご迷惑をお掛けすると思いますが、皆様のご期待に少しでも添える様に勤めますので、宜しくお願ひ致します。

高校までは愛知県内の学校へ通い、縁があり、高野山大学へ行くことになりました。この時、実家がお寺でなかつたので僧侶になるとは思つてませんでした。しかし、高野山で出会う方に「高野山へ來たのだったら、僧侶の資格を持つても邪魔にはならないから」と口を揃えて言われ、それで、在学中に

修行をして僧侶となり、お大師様の弟子になつたわけです。

卒業後は、総本山金剛峯寺に勤めました。山奥にある真別処・円通律寺では、修行者と共に生活をし、奥之院では、お大師様と共に、参詣の方々をお迎えしました。

大学から今年三月に退職するまで、計十二年間という月日が経っていました。大学四年間のつもりでしたが、思いもかけない三倍の月日を、高野山で過ごしていました。

もしかすると、お大師様は知っていたのかもしれません。

(合掌)

灯籠流し

岡山市佛教会主催で、今年も例年通り、八月十六日六時半から、西川の緑道公園にて、灯籠流しを開催致します。

ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

淡路島靈場参拝③

本年四月二十四日、淡路島にある十三仏靈場と七福神靈場のお参りの三回目として、鳴門大橋に近い南淡路の七ヶ寺を訪れました。

春の嵐、強風注意報がでていましたので、転ばないよう注意しながらでしたが、無事結願をいたしました。

住職の法話を聞いたり、お菓子の御接待を受けたり、のどかなお寺巡りでした。十三仏と七福神と一緒に回ったた存じますが、淡路も日帰りのコースですので、別々にまたゆつくり参つてみてはいかがでしょうか。また違った印象を受けることと思います。

次の予定は、十月十日(木)新しく兵庫県と京都府にまたがる丹波古刹靈場を、三回に分けて参ります。安住院として初めての場所になりますので楽しみにしています。是非多数のご参加をお願い致します。

